

INFORMATION :



2026 年 8 月吉日

各 位

株式会社 魚国総本社

円山動物園「SDGzoo2026」に協賛・出展 ～食を通じて、海・生物多様性・未来とのつながりを伝えました～

魚国総本社は、2026 年 7 月 25 日（土）・26 日（日）に札幌市円山動物園で開催された「SDGzoo2026」（毎日新聞社主催、札幌市円山動物園共催）に協賛企業として参加し、展示・体験・飲食企画などを出展しました。2 日間の円山動物園全体の延べ入園者数は 7,409 名となり、当社が出展した『ホッキョクグマ館』には、1,200 人を超える来園者の皆さまに足を運んでいただきました。

■展示・体験・セミナー・食を通じて、SDGs を身近に

ホッキョクグマ館では、当社の食育・環境・SDGs に関するパネル展示やクイズ、「海のことを考えよう」と題した海洋プラスチックごみの展示、食品ロスや森・陸・海のかつながりを学ぶコーナーなどを設けました。

また、館内を巡りながら学べる魚国総本社スタンプラリーを実施し、2 日間で 750 名が完走しました。完走者には、「思い出缶バッジづくり」を体験していただきました。館内のさまざまなコンテンツに触れ、SDGs への理解を深めるきっかけとなりました。



【スタンプラリー 思い出缶バッジづくり】

■高校生や環境団体、動物園との連携

今回のイベントでは、アニメ『銀の匙』の舞台でも知られる帯広農業高等学校様にご参加いただき、来場者向けにレザークラフトやハーバリウムづくりの体験コーナーの運営を通して、農業や食育に関する SDGs の取り組みをご紹介いただきました。

また、「#SASS 2025」（大学生が中高生の SDGs の取り組みを表彰するアワード）で魚国総本社賞を受賞した作品を含む 2 作品について、生徒の皆さまに発表していただきました。さらに国内外の食と農業への思いをインタビュー形式で来場者へ発信しました。



【帯広農業高校 #SASS2025 発表の様子】

WWF ジャパン様には、生物多様性や気候変動、サステナブルシーフード、北極圏の環境問題についてご紹介いただいたほか、円山動物園の飼育員とのトークセッションや、「海の生物多様性について」のセミナーにもご協力いただきました。

これらの企画を通じて、「食」「農業」「海」「動物」「生物多様性」が繋がっていることを考えるきっかけとなりました。



【WWF ジャパン様と円山動物園飼育員のトークセッション】

■「食えること」から考えるサステナブル

キッチンカー・飲食のテントでは、環境に配慮して養殖した魚や北海道産食材を使ったメニューを提供しました。

「サステナブル鮭カツのタルタルパラタ」をはじめ、芦別 RICE 様の割れ米を活用した「お米のジェラート あざらしパフェ」などを提供、規格外フルーツの活用も取り入れ、地域食材の有効活用と食品ロス削減につなげました。



【サステナブル鮭カツのタルタルパラタ】



【お米のジェラート あざらしパフェ】

■多くの方との出会いを、これからの活動へ

今回の SDGzoo2026 では、展示や体験、セミナー、飲食など、さまざまな接点を組み合わせることで、SDGs を特別なテーマとしてではなく、日々の食や身近な環境問題として感じていただくことができました。また、帯広農業高等学校様 や WWF ジャパン様など、多方面で活動する方々と連携することで、「食」を中心に、農業・海・動物・生物多様性を一つのテーマとしてつなげることができました。

今回得られた学びや連携を、次世代に向けた食育・環境教育や、地域・学校・企業・専門機関との協働に生かしてまいります。



【WWFジャパン様+魚国総本社参加スタッフ】

本イベントを主催されました毎日新聞社様、共催の札幌市円山動物園様、ご参加・ご協力いただいた帯広農業高等学校、WWF ジャパン様、そしてブースにお立ち寄りくださったすべての皆さま、当社の展示運営にご協力いただいた皆さまに、心より御礼申し上げます。

魚国総本社は、これからも「食えることから未来を考える」ことを大切に、サステナブルな食や地産地消、食品ロス削減、食育、学校との連携などを通じて、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

■関連リンク

[魚国総本社 キッズスマイル Instagram](#)

[動物園で学ぶ SDGzoo\(公式サイト\)](#)

[毎日新聞 動物園で学ぶ SDGzoo Instagram](#)



【キッチンカーイベント】



【円山動物園入口ゲート前：
魚国お米丸のお出迎え】



【魚国総本社展示：海洋ゴミコーナー】

